陥りやすいミス、解析のポイント

主に間違えやすいポイントとソフトの癖を下記のページにまとめました。

https://terakoya2018.com/%e2%98%86%e5%bd%a1-%e6%9d%90%e6%96%99%e6%b8%ac%e5

寺子屋

ube勉強会）　解析用お役立ち資料　解析用材料データベース構築　大変形解析サポート　お問合せ　☆彡 材料測定から定義の基本-間違いやすいこと　Login Customizer

☆彡 材料測定から定義の基本-間違いやすいこと

一番上（？）

有料セミナー/年間サポート/解析習得/解析勉強会　YouTube勉強会始めました　HP資料一覧

☆彡実用　粘弾性定義の落とし穴

要旨：粘弾性効果はそのまま使用できない。
その理由は、超弾性データはすでに緩和も含んだデータで、最終調整が必用。
また、固有値解析、調和応答解析には
級数は無効化されます。

二番目（？）

☆彡実用　粘弾性解析定義

上から

☆彡 **ゴムの耐久性の見方ゴムの解析が難しいという理由　・おまとめ・・・**

ゴムの解析はある一定（３つ）の注意を守れば簡単に予測精度がアップします。
①加硫を考慮した熱履歴の考慮
②シール組付け等１回目なのか防振震度繰り返しの３回目なのか
③誤差、寸法誤差、硬度差、摩擦などアンマッチ

簡単だと思われている線形解析の盲点から非線形解析まで

線形解析の難しさ、ゴムは曖昧でも合ってくるもの。金属の完全拘束はNG
線形解析の難しさをおまとめで。

モデリング&メッシング

平面応力と平面ひずみの違い、接触解析時のメッシングなどポイントを押さえて。

材料定義＆質量密度の勘違い＆自由落下重力の罠、誤差

自由落下など、質量密度の間違えなど時解析誤差などの関連性・・・

ひずみエネルギー密度関数の限界と勘違い

以下、**摩擦や解析の改善点**をまとめました。